

盛岡地域福祉センター 地域密着型通所介護 運営推進会議報告書

令和3年9月28日（火）

施設名：盛岡地域福祉センター

事業名：地域密着型通所介護

会議開催日時：令和3年9月に開催予定としていたが、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から書面報告による開催・意見照会とした。

紹介依頼者：6名

（利用者1名 利用者家族1名 地域住民の代表2名 知見を有する者1名
盛岡市職員1名）

センター職員：所長 生活相談員 主任生活支援員

【利用者実績報告】

R2.3月までは通所介護事業（定員23名）実施。R3.4月より地域密着型通所介護事業に移行。R3.4より登録者の増に伴い利用者数が前年に比べ186名増となる。今後も丁寧な支援を心がけ、満足いただくことで、利用者数の増加を行っていきたいと考える。

【活動内容報告】

新型コロナウイルス感染症蔓延防止の為、中止となる行事が多い中、感染予防しながら楽しめる活動を工夫し、利用者に提供して行きたい。また、9月より理学療法士が配置となり、利用者様の自主訓練のアドバイスが出来る様になった。残存機能維持、向上のための自主訓練をおすすめして行きたい。

【ひやりはっと報告】

報告書にまとめ、再発を予防する。再発予防策について、更に深めた対応をして行きたい。また、報告しやすい職場の雰囲気作りも大切にしていく。

【意見報告】

委員の方より

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながらの施設運営においては、職員様・利用者様双方にとって大変な負担であることと存じますが、引き続き適正な運営を行っていただくようお願い申し上げます。

さて、活動報告では、例年の行事等も中止となり、施設内での活動を中心に行われているとのことでしたので、今後も職員様・利用者様の安全を第一にQOLの向上に繋がる活動を行っていただきたいと思えます。

また、インシデントも数件報告をいただいておりますが、再発防止について施設の中で検討をいただき、引き続き適切なケアをお願いできれば幸いです。

センターより

ご助言いただきありがとうございます。引き続き感染対策にとりくみながら、利用者様の満足度が高くなる行事企画を実施してまいります。また、インシデントの再発防止策について、検討方法について再確認し、職員全員で共通認識のもと支援してまいります。

委員の方より

いつもお世話になりありがとうございます。特にありません。

センターより

返信いただきありがとうございます。今後も安心してご利用いただけるサービス提供を行ってまいります。

委員の方より

(一部抜粋させていただいております)

先日、職員の方にご報告を受け助かりました。「昼食時こぼし拭きました。服がしみになったかもしれません」とささいなことでも教えていただけると助かります。

①声がけ②さりげない介助 現在思いついている利用者さん全般に共通することだと思えます。

職員の皆様方にはよくしていただいていると頭が下がります。いつもありがとうございます。

センターより

ご意見いただきありがとうございます。利用者様の特性に合わせた支援を行うと共に、安心して過ごせるような気遣いを心がけていきたいと思えます。今後も、ご家族様との情報共有を大切にし、センター、ご家族様と協力しながら、利用者様の生活を支えていきたいと思えます。

委員の方より（一部抜粋させていただいております）

いつも大変ありがとうございます。資料拝読しました。

コロナ禍の中、スタッフの皆さんが感染に留意し、工夫を凝らしたサービスを提供なさり軽度から重度の方々が継続利用なさっている様子が見て取れました。

私が担当している地区は、比較的年齢層が若く、時間、体力に余裕のある方、自立なさっている高齢者も多く見受けられます。その方々が介護に必要な前のいまこそ顔の見える地域の繋がり、関係づくりができないものかと思っています。

従来通りの老人クラブの活動は今の世代の方には魅力がないようで会員数は減る一方です。地域の仲間作りの良い方法等、専門家のご助言をいただきたいです。日頃、介護保険利用者に限らず、障害のある方、親子教室、サークル活動の方々がセンターに集う姿を見るにつけ、センターが地域の安心ノーマルさの象徴と感じています。今後どうぞよろしく願いいたします。

センターより

ご助言いただきありがとうございます。今年度より地域密着型通所介護事業実施したことにより、このような運営推進会議を設けることとなりました。この会議を実施したことで、地域の皆様からの声をいただくことができ、センターとしてもとても貴重な機会と考えております。この会議をきっかけに、地域作り、集いの場、災害時の支援拠点としての役割を職員一同再確認いたしました。地域の皆様とともにセンターも歩んで行きたいと思えます。情報共有しながら、安心して過ごすことのできる地域作りをご一緒させていただきたいと思えます。

委員の方より

いつもお世話になっております。未だ収束に至らない感染症が流行している中、デイサービスで行われている毎月の行事や機能訓練を交えたレクリエーションの企画など、日々苦悩されているスタッフの方々のお気持ちお察しいたします。

活動報告書では、『ヒヤリはっと』報告書など、細やかな「気づき」がしっかりしているからこそ、大きな事故に繋がらず、利用者様が安心して利用できているのだと思えました。

これから冬場にかけて、特に凍結による転倒事故の発生リスクが高くなると思えますので、冬場の送迎時などの危険予知に力を入れることでさらに事故を未然に防ぐことができるのではないかと考えます。

センターより

ご助言いただきありがとうございます。「ヒヤリはっと」の状況を把握し大きな事故を未然に防ぐことが大切であると考えています。再発防止も含め引き続き継続してまいります。また、利用者さまの状況等の変化など見逃すことなく、ご家族や居宅介護支援事業所のケアマネージャーと密に連携を取りながら支援させていただきます。

委員の方より

資料を拝見させていただきました。誠に勝手に申し訳ございませんが辞退させていただきます。

センターより

ご返信いただきありがとうございます。書面開催になり、細やかな説明が出来ずにご負担をかけてしまったかと思えます。今後も地域のコミュニティの拠点として、沢山の皆様にご利用いただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

以上。

【次回開催予定】

令和4年2月頃